

申請書を提出する日を記入してください。

令和 年 月 日

広島市長

申請人

住(居)所(又は所在地)、電話番号(携帯電話も可)、氏名(又は名称)を記入してください。申請者が法人である場合は、その代表者の役職、氏名、法人番号を併せて記入してください。

住(居)所(所在地)
電話番号 ()
携帯電話 ()
氏名(名称)
法人番号

換価の猶予申請書

市の徴収金について、次のとおり換価の猶予をしてください。

「猶予期間の開始日」から「納付(納入)計画の最終日」(最長で1年間)を記入してください。

猶予期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

猶予する徴収金の内訳

年度	税目又は科目等	区	通知書番号	年度分	納期限 督促等年月日	金額(円)	延滞金額(円)	備考
計			滞納処分費 (円)	金額 (円)	延滞金額 (円)	合計額 (円)		
(注意事項) ・上記の延滞金額は、法律の定めによって計算した令和 年 月 日までのものです。 ・この日の翌日からの延滞金は、上記の金額に加算して徴収します。								

猶予を受けようとする市税・保育料・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の年度・税目・納期限・金額等を記入してください。「別紙のとおり」とし、滞納金額明細表をつけることができますので、希望する場合は担当課にお問い合わせください。

納付(納入)計画

回	納付(納入)期限	金額(円)	回	納付(納入)期限	金額(円)	回	納付(納入)期限	金額(円)
1			5			9		
2			6			10		
3			7					
4			8			12		

猶予期間中の月々の納付(納入)期限及び金額を記入してください。

納付(納入)場所

一時に納付(納入)することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情の詳細

次ページの記載例を参考に、一時に納付(納入)することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情の詳細を具体的に記入してください。

次の(1)~(3)のいずれかに該当する場合には担保を提供する必要はありません。
 (1) 猶予を受ける金額(未確定の延滞金を含まず)が100万円以下である場合
 (2) 猶予を受ける期間が3ヶ月以内である場合
 (3) 担保を提供できない特別の事情がある場合(※)
 ※決算書、現況などから担保提供できることが明らかである場合は該当しません。

担保の提供に関し参考となるべき事項

担保	<input type="checkbox"/> 有	担保財産の詳細
	<input type="checkbox"/> 無	提供できない特別の事情

猶予を受けるにあたり、担保を提供する必要がある場合には、「有」にチェックを入れ、担保財産の種類を右欄に記入してください。例：国債・地方債、社債その他の有価証券、土地・建物、保証人の保証など

担保を提供する必要がないときは、「無」にチェックを入れてください。特別の事情があり担保を提供できない場合は、「無」にチェックを入れ、理由を右欄に記入してください。例：地方税法により担保として提供できることとされている種類の財産がない

一時に納付（納入）することにより事業の継続又は生活の維持が困難となる事情の記載例

◎住宅家屋の建設を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により工事が中止・延期となっており、売上が減少している。銀行借入（毎月20万円）も返済を猶予してもらっている。取引先からの入金を全て市税等の納付に充てた場合、事業の継続が困難になる。

◎個人事業で運送業を営んでいるが、取引先の1つであった△△株式会社の事業縮小のため、△△株式会社との契約が令和2年11月をもって終了することとなった。△△株式会社との取引は、売上の約30%を占めていたため、資金繰りが急速に悪化した。現在は、事業に係る経費や生活費を節約するほか、家賃の安い住居に転居することにより、燃料費等の事業資金や生活費を捻出している状況である。今月の入金額を全て市税等の納付に充てた場合には、事業資金の支払だけでなく、生活費の捻出も厳しくなり、生活の維持が困難となる。